

#### 第55回 けいれんを止めるくすり

一般的にけいれんと聞くと「てんかん」がまず初めに思い浮かぶのではないのでしょうか。しかし、必ずしもてんかんがけいれんを起こすわけではなく、けいれんを起こさないてんかんもあります。けいれんと一口に言っても、全身がビクビクと震えるような重大なものから、体の一部分に起こるものも（こむらがえりなど）けいれんに含みます。けいれんで、てんかんによるもの以外では脳腫瘍や脳卒中、頭を強く打ったことによる脳の損傷、脳の感染症、薬物中毒、代謝異常などによって引き起こされることがあります。全身のけいれんでは、長時間けいれんが続くと脳への酸素がいきわたらずに障害を残してしまうこともあるため、注射などですみやかにけいれんを止める必要があります。また、再度けいれんが起らないために、けいれん止めのくすりを予防的に使用することがあります。

けいれんは異常な電気信号が脳から神経を通して筋肉に伝わってしまうことで起こります。けいれん止めのくすりは、異常な電気信号が神経を伝わるのを抑えることによって効果を発揮します。けいれん止めのくすりには副作用が多く、効果を発揮する量と副作用が出てきてしまう量が非常に近いため（安全域が狭いといいます）、体の中に入っているくすりの量を見ながら投与量を決めることもあります。

それでは、当院に採用されている代表的なけいれん止めのくすりについてみていきましょう。

エクセグラン：excellent（優れた） grand（偉大な）抗てんかん剤という意味を表す

ガバペン：一般名ガバペンチンに由来する

デパケン：科学名の一つである Sodium dipropyl acetate の略号 DPA に由来

アレビアチン：Alleviate（英語）心身の苦痛を緩和するより、てんかんの苦痛を和らげるの意味

セルシン：certain（確実な、確かな）な精神状態に持っていく薬物ということで命名された

ホリゾン：精神安定剤として心の安定を示唆する水平線：ホリゾン（Horizon）が選ばれた

セルシン・ホリゾンはどちらも一般名がジアゼパムで同じ成分の薬です。当院ではセルシンは注射と粉薬、2mgの錠剤があり、ホリゾンは5mgの錠剤があります。てんかんのけいれんだけでなく、注射があるので重大なけいれんを速やかに止めるためによく用いられるくすりです。

ダイアップ：ジアゼパムの洋名である diazepam に由来

ダイアップもセルシン・ホリゾンと同じ成分です。ダイアップは坐薬なので、小児における熱性けいれんに使用されます。熱性けいれんは小児における痙攣のおよそ半分を占めます。

次回は前立腺肥大症のくすりです。